

## 群馬サミット開催報告

(一社) 日本建築構造技術者協会 関東甲信越支部

### ■ 開催概要

- ・ 日時：2025年5月23日（金）
- ・ 会場：富岡製糸場（見学・講演会）、ホテルメトロポリタン高崎（懇親会）
- ・ 参加者数：見学会・講演会：54名、懇親会：49名
- ・ 主催：JSCA 関東甲信越支部（運営：JSCA 群馬サテライト）
- ・ 協力：群馬県建築構造設計事務所協会（GSAS）

### ■ プログラム内容

#### ◆ 総会（13:15～14:30）

富岡製糸場西置繭所にて関東甲信越支部の代議員による総会が開催され、支部の活動報告・計画が審議されました。



歴史的空間での支部総会開催風景

#### ◆ 見学会（14:45～15:30）

世界遺産「富岡製糸場」を舞台に、西置繭所の保存・活用プロジェクトの現地見学を実施。実際に改修された建物内部を見ながら、文化財と構造技術の関わりについて現地で理解を深めました。

#### ◆ 講演会（15:30～17:00）

- ・ 講師：江尻 憲泰 氏（日本女子大学建築デザイン学部 教授）
- ・ 講演テーマ：「富岡製糸場の耐震補強～西置繭所にて～」

講演は、世界遺産かつ国宝に指定された「富岡製糸場 西置繭所」にて行われ、現地における保存活用と耐震補強の実例を踏まえた内容が展開されました。本プロジェクトは2022年に日本建築学会作品賞を受賞しており、ここでも高く評価された文化財建築に求められる保存と活用の両立、構造補強に対する思想やアプローチが講師の江尻憲泰氏より語られました。

参加者は、歴史的建造物の内部空間に身を置きながら、対象建物そのものを背景に講演を聴講するという、臨場感ある貴重な体験となりました。また、机を設けず、講師を囲むように着席するスタイルにより、場の一体感が生まれ、集中して話を聞くことができたのも印象的でした。



文化財の中で学ぶ耐震補強の現場知

### ◆ 懇親会（18:45～20:30）

ホテルメトロポリタン高崎にて開催された懇親会では、関東甲信越支部各サテライト間の交流のほか、GSAS（群馬県建築構造設計事務所協会）の会員・賛助会員との親睦も図られ、有意義な情報交換の場となりました。



世代・地域を超えた交流のひとつ

### ■ 所感・成果

今回のサミットは、構造技術者として歴史的建造物の保存活用と向き合う姿勢を再確認するとともに、実務的視点での議論が交わされる貴重な機会となりました。また、各サテライトや地域団体との相互理解を深める場としても実りある時間となり、今後の活動につながるネットワーク構築が期待されます。